

島根県立中央病院図書室の紹介と NLM (米国国立医学図書館)分類への変更作業

石 崎 久 恵 (島根県立中央病院)

I はじめに

各図書室における分類法は、それぞれの設置主体、蔵書内容によって異なると思われるが、当院の場合は、昭和47年に臨床研修指定病院となり、同50年には島根医科大学の関連教育病院に指定され、3カ年計画で図書室の整備が行なわれた。それに伴い蔵書数が急激に増加したため、従来のNDC分類(日本十進分類法)から、NLM分類(米国国立医学図書館分類)への変更作業に着手した。分類変更の動機、作業経過、作業量、そして問題点について報告し、あわせて図書室の紹介をしたい。

II 図書室の概要

当院は病床数574床、職員数628名(医師69、看護婦317)の県の総合病院である。

図書室は昭和46年に、それまで各科、各部門に散在していた図書、雑誌を中央管理するところからスタートした。同52年に病院の改築が行なわれ、病歴室と併設されて図書室ができた。同時に院内の機構改革も実施され、医事課所属より院長直属の図書病歴管理室として独立し、現在に至っている。室長は副院長が兼ね、職員は3名、図書1名、病歴2名である。

図書室のスペースは書庫152m²、閲覧室82m²、事務室31m²で、総面積265m²である。(図参照)年間予算は、54年度の場合、670万円である。蔵書数は次の通りである。

和 書	37.22冊	和雑誌	112種
洋 書	987冊	洋雑誌	114種
製本雑誌	3595冊		

雑誌は過去5年間の文献が揃うようになってきた。

運営は図書委員会を通して行っており、委員は担当者を含めて12名である。構成は事務局、各診療科、医療技術者、看護部の各代表で、年3回程度開催している。

[図書室活動・利用サービス]

利用者に対しては次のようなサービスを行なっている。

1) 新着図書案内

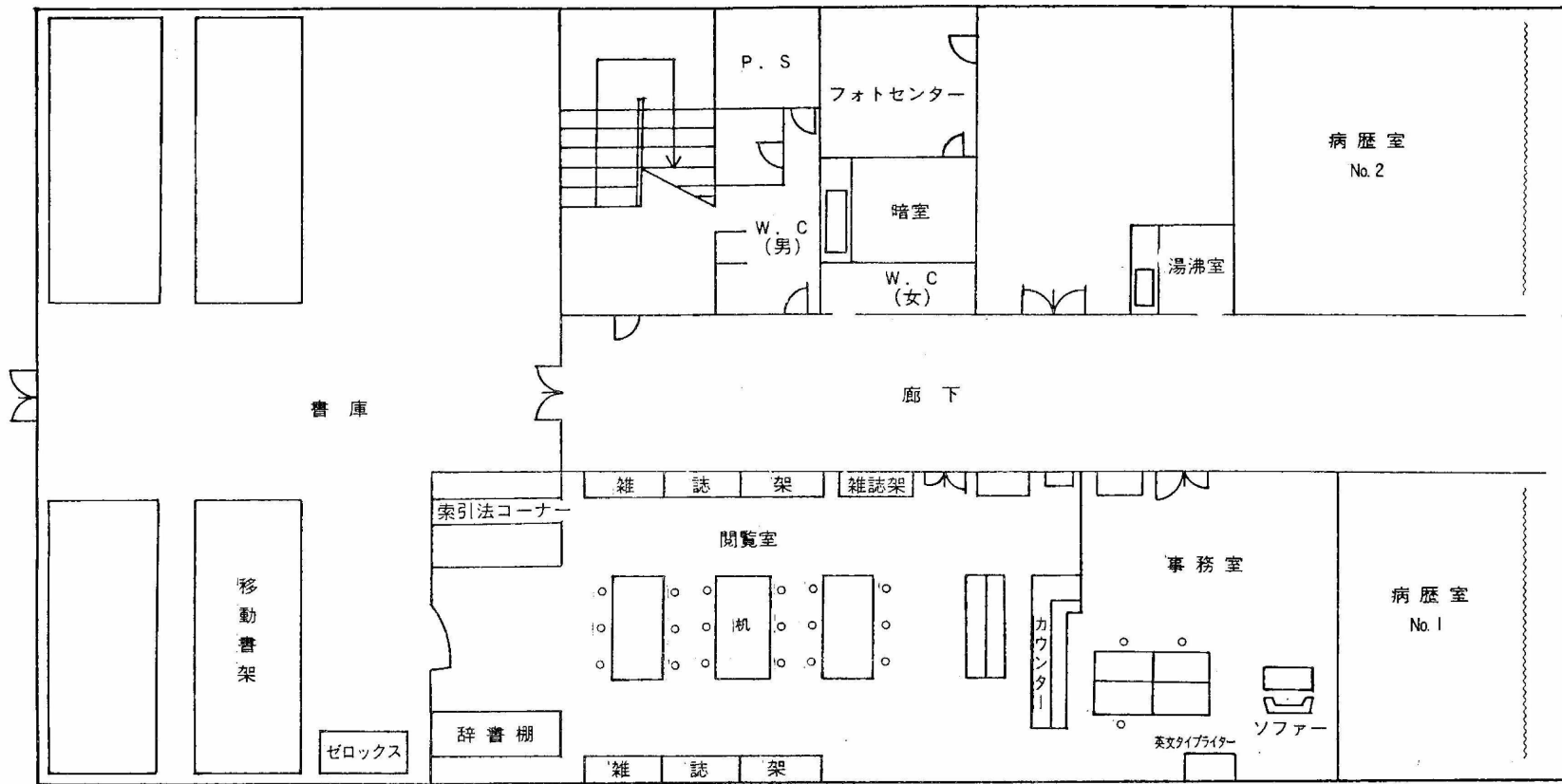
毎月1回、月始めに発行し、各科外来、病棟、県立看護学院に配布。

2) 新着雑誌の1週間展示

1週間分をまとめて月曜日に整理し、展示している。利用者間に定着し、展示替え日を目当てにして来室する人が多くなっている。

3) 目次速報サービス

上記新着雑誌を展示替えの際に、目次をコピーして各診療科17部門に回覧している。返却された目次は各誌ごとに1年分を綴じ込み「総目次」として再利用している。このサービスに対して大変賛同してくれる人



図書室平面図

と、必要なしという声も聞かれるが、多忙で図書室を利用できない医師に対して、少しでもコンテンツに目を通してほしいと思って続けている。

4) 和雑誌特集号カード目録

各誌の特集記事をカードに記入し、50音順に配列している。利用者よりもむしろ担当者の方がよく使い、文献検索の依頼を受けた時、またクイックレファレンスにも役立っている。

5) 文献検索サービス

申込者が特定の人に限定されているのが現状である。54年度の場合は19件で、その内3件は院外へJOISIによる検索を依頼した。

6) 院外文献複写サービス

以前は文献入手まで日数がかかり過ぎ、利用者が少なかったが、最近では病院間の相互貸借ができるようになり、大変助かっている。申込件数は、52年度103件、53年度100件、54年度89件である。

7) その他(学会用スライド作成、当院発行の医学雑誌編集の手伝い等)

なお、図書・雑誌の貸出状況は、次の通りで、年々増加の傾向にある。

昭52年		1159 冊
53年	773人	1233 冊
54年	901人	1387 冊

現在行なっているサービスのうち、院外文献複写、文献検索については、医師からだけではなく看護部門からの申込みも徐々に増えつゝあり、今後図書室の活動のPRによって幅広く利用してもらおうことが課題である。

Ⅲ NDC からNLM 分類への変更について

[動機]

前述のように、(1) 島根医科大学の関連教育病院となり急速に蔵書数が増加したこと。

(2) 医学を中心とした蔵書構成であるので、医学専門分類が必要と思われた。(3) 島根医

科大学図書館がNLM分類を使用している。

(4) 今後の傾向として医学系図書館間でNLM分類が普及するであろう。(5) 分類変更を実施することにより所蔵図書の整理が併せて行える。(6) 6カ月間、病歴業務と兼務で臨時職員1名が配置された。等である。

分類変更にあたっては、図書委員の先生方にNLM分類を理解していただくために、車で10分程の近距離にある島根医科大学へ見学に行っていた。私自身は近畿地区でNLM分類に変更された大津赤十字病院を見学させていただき、分類変更作業に着手した。

[対象 図書]

和書3590冊、洋書913冊、合計4503冊のうち、NLM分類に変更する図書は1965年以降発行の医学図書に限った。これは古い図書になると利用価値が少なくなるため、書架の整理をし使いやすくするため、そして分類変えの手間を省くためである。1965年以前の図書、医学書以外は従来のNDC分類を使用した。

配架は新分類と旧分類の混合配架としたが、分類変更した図書は書庫内に設けたテーブルに一旦置いてから所定の書架に納めた。これは、(1)利用者分類変更したことを知ってもらう(2)求める本が新分類ではどう変わったかを知ってもらう(3)新分類の図書を配架するスペースを得るためであった。

準備したものは、NLM分類表第3版(国立ガンセンター図書館訳編)、清打用ホワイトコレクター、分類番号用のゴム印等である。

[作業 手順]

図書を書架から取り出し、目録カードの抽出、分類番号の決定、ラベルの貼りかえ、目録カード、ブックカード、図書原簿の訂正、目録カード複写、カードの収納、配架の順で行った。

作業期間 6カ月(54.9.1～55.2.29)

作業人員 2名(1名、臨時職員)

作業日 4カ月(木～土); 2カ月(火～木)

実作業日数 57日
 処理冊数 2693冊 (内 1965年以前、
 その他の図書 675冊)

当初、6カ月間では終了するよう計画したが、2名で作業を行う日以外は他の図書業務、また時期的に当院発行の医学雑誌の編集、学会用スライド作成等と重なり、1名ではほとんどできない状態であった。

〔問題点〕

分類上、(1)NDC分類に慣れているため、私自身のとまどいがあり、発想の転換が必要と思われた。(2)MeSH (Medical Subject Heading) との関連性で用語の理解が必要であった。(3)医学専門分類であるため、医学に隣接した分野の分類ができない(生物学・心理学・社会福祉)。(4)分類担当者は、同じような図書がバラバラに分類されることのないように統一性をもたせておくことが必要である。一名で行っていても当初と最近では見方が異なってきたりするので、使用した番号は分類表にチェックをし、注記を書き込んでいる。(5)分類作業にあたって取扱いに困ったのは、全集・定期刊行物・会議録であった。継続的に購入するものと単発購入するものとの二つに分けられるが、当院の場合は継続性のある全集は各網目の総記へ、定期刊行物・会議録は[W1 医業の学会・協会・団体]へ分類している。単発購入のものは各網目にそれぞれ分類した。

作業上、また貸出し上、新分類と旧分類との混合配架のため利用者にとまどいを与えたが、貸出し業務も支障なく行えた。しかし整形外科医療技術者(リハビリ)・医療社

会事業科)の利用者からは、分類がバラバラになり探しにくいとの苦情があった。現在のところ、NLM分類に変わったことを広く知らせる意味で、配架は分類番号順とし、必要に応じて代本板を入れ、関連分野への参照をだしている。

以上、問題点はいろいろあるがNLM分類の長所としては、(1)器管別になっており分類しやすい。(2)洋書については本に分類番号が記入されているものもあり、分類の参考になる。(3)体系化されており追加等の展開ができる。(4)既成のカードを使用することもできる。また、図書の整理、図書原簿、目録カードの記入もれのチェックができたのも、この分類変更作業の利点であった。

IV おわりに

分類変更に着手した当初、4千冊余りの図書を前にして出来るだろうかという不安があり、6カ月後60%程度の分類変更しか完了できずあせりを感じた。それでもなんとか作業を終えることが出来たが、分類のむつかしさをつくづく感じた。今後は行方不明図書の追求、分類の統一性を保つために、マニュアル作成をしたいと考えている。なお、図書室をきちんと管理することも大切であるが、今後は単なる図書の番人ではなく利用者を通して医療に携る者の一員として、利用者に対し積極的にアプローチし、充実した図書室づくりをめざして努力したい。

NLM 分類表 (第3版・国立ガンセンター図書館訳)の [W1] の項

WI 800-810	Pancreas	WI 800-810	肝臓と胆道
WI 900-965	Abdomen and Abdominal Surgery	WI 900-965	臓器および腹部外科
WI		WI	
*1	Societies Includes ephemeral membership lists issued serially or separately. Classify substantial lists with directories. Classify annual reports, bulletins, etc. in W 1.	*1	学会・協会・団体 継続的あるいは単独に発行される暫定的な会員名簿をばむ。重要な名簿は、人名録に分類する。年報、紀要等はW1に分類する。
5	Collections By several authors	5	集書(双書・講座) 数人の著者による